

## 授業科目 助産診断・技術学 III

【担当教員名】  中山 和美	対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 産婦と胎児、新生児およびその家族の分娩期の経過と健康に関する助産診断・技術について学ぶ。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
1 産婦と胎児、新生児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断について説明できる。 2 産婦と胎児、新生児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断に基づいた助産技術を説明できる。 3 正常経過を逸脱した産婦と胎児、新生児およびその家族に関する助産診断について説明できる。 4 分娩期の援助技術を実施できる。 5 分娩期における助産師としての役割・態度について考察する。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	分娩期の助産診断・技術（1）		1～3	講義
2	分娩期の助産診断・技術（2）		1～3	講義
3	分娩期の助産診断・技術（3）		1～3	講義
4	分娩期の助産診断・技術（4）		1～3	講義
5	分娩期の援助技術（1）		1～3	講義
6	分娩期の援助技術（2）		1～4	デモンストレーション、演習
7	分娩期の援助技術（3）		1～4	演習
8	分娩期の援助技術（4）		1～4	演習
9	分娩期の援助技術（5）		1～4	演習
10	分娩期の援助技術（6）		1～4	演習
11	分娩期の援助技術（7）		1～4	演習
12	分娩期の援助技術（8）		1～4	演習
13	分娩期の援助技術（9）		1～4	演習
14	分娩期の援助技術（10）		1～4	演習
15	まとめ		5	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	分 町浦美智子責任編集 他	日本看護協会出版会	2009・3,600円＋税
	助産学講座7 助産診断・技術学 II[2] 分娩期・産褥期	我部山キヨ子編 他	医学書院	2007・4,800円＋税
参考書	助産師基礎教育テキスト 第7巻 イリスク妊産褥婦・新生児へのケア	ハ 遠藤俊子責任編集	日本看護協会出版会	2009・4,500円＋税
その他の資料	必要に応じ随時提示します			
【評価方法】 試験 60% 演習への参加態度ならびにレポート 40%		【履修上の留意点】 リプロダクティブヘルスケア演習Ⅰ・Ⅱで履修した内容は十分理解したものと して授業を進めます。演習を取り入れ、学んだ知識と技術・態度を統合し、実践能力を 高めていくことをめざします。演習には時間外の時間を多く活用し、自己トレーニ ングすることになります。課題意識をもって主体的に学習し、分娩期における助産 師としての役割・態度について考察してください。		